

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年3月11日

団体名 岡崎市少年少女発明クラブ

代表者 村松 和明

構成員 クラブ員45名 指導 14名 事務局2名

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

岡崎市少年少女発明クラブは、次世代を担う少年少女に科学技術に興味・関心を追求する場を提供し、創作活動を通じ作品を完成する喜びを体験させ、科学技術に対する夢と情熱を育み、創造性豊かな人間形成を図るクラブ活動。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令和6年4月～ 令和7年3月 第3日曜日	六名会館	岡崎市全域から公 募をかけた45名 の小・中学生	あきんどフェア 北部法人会イベ ント参加者40 名の市内学童	団体の目的に準じた期間中のものづくり体 感講座を受講してもらいました。第3日曜 日の各月一回講座です。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

生活や機能性をより良くすることを念頭に入れて講座を考案し仕上げる活動なので
 自己統制を促し、観察力、工夫力、構成力、論理的思考力、巧緻性が高まる。また、科学
 技術的素養を身に付けると共に、科学技術の人間生活への貢献・役割の理解が図れる。
 思考、推理の確認行為としてのものづくりであるため、自身の考えの正しさを実感でき
 るので、自己肯定感を育み、生産活動、社会活動に対する理解・関心が高まる。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

毎回の講座を続けることで、ものづくりに関わる身についてた技能や経験を踏まえ、オリジナルな発想
 を作り出していける場であることは、間違いありません。指導員が子供たちへ刺激してやりたいという
 思いがしっかり伝わっていると思います。